



ジェトロで20年勤務後、ニューヨークで起業して12年。マーケティング、ロジスティクス、そしてオペレーションの面から、北米への進出をサポート。日本企業とのパートナーシップを基に、日本の優れた商品を北米市場に紹介している。

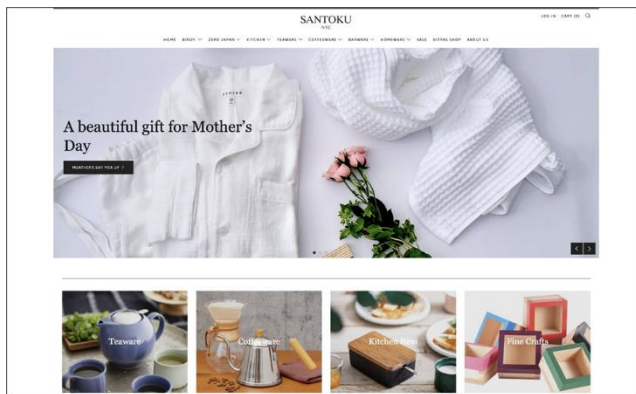
「母の日とメモリアルデーは重要な商戦」

消費大国の米国における商戦としては、11月末の感謝祭からクリスマスに掛けてのホリデー商戦が最も重要ですが、その後も1月はニューイヤーセール、2月はバレンタインデーセール、そして4月はイースターセールと米国の小売業界はあの手この手でセールを仕掛けています。

＜母の日はアメリカ人にとってとても重要な日＞

なかでも、5月の第二日曜日に祝われる母の日は多くの家庭で、子供たちや夫からギフトを送る重要な日です。アメリカやアジアに暮らした経験からすれば、母親は日本以上に大事にされていて、それこそ母の日はとても大切な日で、花やギフト、カードを送ります。ちなみに、米国グリーティングカード協会の2020年の統計によれば、最も贈られる枚数が多いのがクリスマス、ついでバレンタイン、3位が母の日となっており、1億1300万枚の母の日カードが贈られているようなので相当な量です。

米国の小売りの店頭の小売りの陳列やネットショップのトップページなどでは、この母の日に合わせていただいた4月中頃、イースターが終わったあたりから、がらっと母の日模様になり、赤やピンクで溢れることになります。



【弊社が運営するオンラインショップ、santokunyc.comでも母の日特集を行った】

＜戦没将兵追悼記念日（メモリアル・デー）は夏の到来を告げる＞

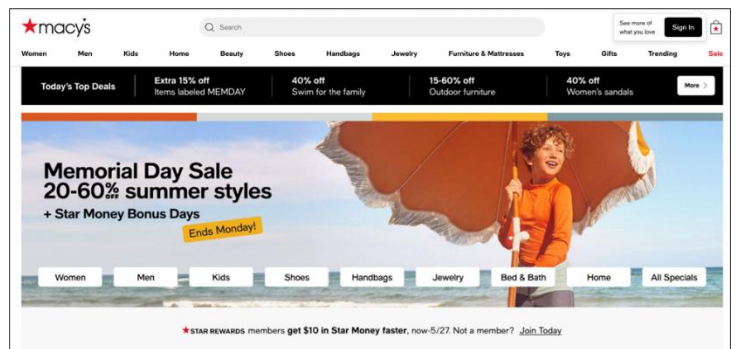
5月最終月曜日は、メモリアル・デーと呼ばれる連邦の休日です。元々は南北戦争で犠牲になった兵士を追悼する目的の休日でしたが、戦争で亡くなった兵士を追悼する日として連邦の休日となっています。

このころには大学は卒業式を終えて長い夏休みに入り、またニューヨークのような北東部でもすでに夏のような気候になることから、家族や友人が集まり、庭でバーベキューをしたり、プール開きがなされたり、ビーチが営業を開始したりと一気に夏が来た感じになります。

また、小売業界では「メモリアルデー・セール」と銘打って、バーベキューグッズや、ビーチ用品、キャンプ用品など主に夏向けの商品のセールやプロモーションを仕掛けます。

＜父の日や独立記念日も＞

そうこうしているうちに、すぐに6月第三日曜日の父の日がやってきます。そして、7月4日の独立記念日。本格的に夏休みに入れば、新学期セール(Back To School)と米国の小売は次々にセールやキャンペーンを仕掛けていきます。こういった商慣習はかなり日本にも伝わっていると思いますが、米国の消費市場を狙う場合は、卸売りの場合はさらに前もっての商談が必要となるため、こういった現地の祝祭日に合わせた年単位での戦略、準備が重要となってきます。



【執筆時の百貨店最大手、Macy's ホームページのトップ画面メモリアルデーセールを謳っている】